

# 小豆島町立安田小学校

本校は、統合して2年目の学校です。平成22年度は、地域の信頼を得る学校づくりを重点に置き、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成を目標としています。

実践事例（関連項目：検証改善プラン②-1）

## 指導の基準を全職員で共通理解する

目的

集団生活のルールに関する指導の徹底をめざし、全職員が指導の基準を理解します。

内容

### ● 定期的な情報の交換・共有

毎週終礼後の生徒指導の連絡会で、全教職員で児童の様子を確認したり、緊急性のある事項についての情報交換を行ったりしました。全職員で話し合うことで、早期把握・対応に努めました。



### ● 指導の基準

基本的には、年度初めに「生活のきまり」として、校内の生活や学習のルールを保護者に知らせました。また、問題行動に関わるような事例や指導の基準の不都合がある場合は、全職員の共通理解によって、基準の訂正や追加などを行い、再度周知し指導につなげました。（服装や学用品に関わる問題が多かった。）

成果

定期的に情報交換ができることで、早期把握・対応につながっています。緊急性がある事例を優先することで、連絡会の効率化と時間確保ができるようになりました。

## 全体の場で表彰し、自信を持たせる

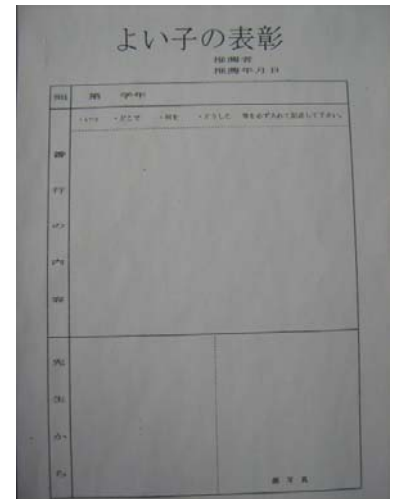
### 目的

全校生の様子を全職員で見取り、認めていくために、よい行いについて全校集会で表彰し、承認・賞賛することで自分の行動に自信を持たせます。

### 内容

#### ● 善行の内容を記録・報告

学校生活の様々な場面について、全職員でよい行いを見つけました。職員は推薦者として、その善行の内容を具体的に記録し、校長に伝えました。各職員、年2回程度をめやすによい子の表彰を報告しました。



〔表彰の記入様式〕

#### ● 承認・賞賛の場

全校集会の場で、校長よりその児童の善行の内容を発表します。全校生の前で表彰することで自信を持たせるとともに、他の児童が友達を賞賛する場とします。表彰後、玄関に掲示し、再度校内に向けて知らせたり、来校者への情報発信の場としたりしました。



〔玄関掲示〕

### 成果

学級担任以外から認められたり、全校生から賞賛されたりすることで、自分の行動に自信がもてるようになってきました。気になる児童については、この場を効果的に活用し、その後の指導につなげています。